

様式 8

「川づくり団体」部門

## 河川基金助成事業

### 綾瀬川クリーン大作戦 海の安全・環境をまもる

助成番号 : 2020-6112-004

特定非営利活動法人草加市カヌー協会  
代表理事 中島 清治

2020 年度

様式9

1. 川づくり団体部門

[概要版報告書]

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名
2020-6112-004	綾瀬川クリーン大作戦	特定非営利活動法人草加市カヌー協会 代表理事 中島清治
<b>助成事業の実施概要</b>		
<p>ワーストワンの綾瀬川が浮遊ゴミで汚れています。会員 101 名が、水、土、日、祝日にカヌーで浮遊ゴミを回収し河川の美化活動を実施中です。また、市民にとって安全で親しめる水辺の再生を図る目的でカヌー大会などを実施しました。さらに、利根川決壊を想定し自主防災組織をつくり、水難救助訓練を重ねています。</p>		
<b>事業テーマ</b>	河川美化 水辺に親しめる活動 水難救助	
<b>キーワード</b>	(本冊子 P.46 の表のキーワードも参考に、3 個から 5 個記述してください)。	
助成事業の要旨	<p><b>〔実施内容〕</b></p>	
	<p>(助成対象となった事業・活動について、活動の対象者、実施方法、他の団体等からの支援等の内容について簡潔に記述してください。またイベントやセミナーを開催した場合は、その参加人数を必ず記載してください。):</p> <p>(1) 夏休み親子カヌー教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8 月 1 日実施。親子計 20 名が参加</li> </ul> <p>(2) 街づくりイベントでのカヌー体験会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 月 18 日 花畑川親子カヌー体験会 90 名参加</li> <li>・ 10 月 21 日 クラーク記念国際高校取材とカヌー体験 36 名参加</li> <li>・ 10 月 25 日 古利根川カヌー体験会 10 名参加</li> <li>・ 11 月 3 日 川の駅そうか村カヌー体験会 23 名参加</li> </ul> <p>(3) 綾瀬川の浮遊ゴミをカヌーで回収</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎週水、土、日、祝日実施。活動日数 123 日、参加人数のべ 1,204 名</li> </ul> <p>(4) 防災救助訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間 12 回、毎月最終水曜日に救助艇の操船、救命浮環投てき訓練などを実施。</li> </ul> <p>(5) 第 1 回名勝草加松原あやせ川松尾芭蕉杯カヌー大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12 月 20 日開催。参加者約 100 名</li> </ul> <p><b>〔成果〕</b></p> <p>(1) 夏休み親子カヌー教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加した親子は、「よい体験が出来た」「もっとやりたかった」と全員が大満足であった。</li> </ul> <p>(2) 街づくりイベントでのカヌー体験会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体験会全体で 384 名に参加していただいた。参加者全員が「とても楽しかった」と感想を言ってくれた。</li> <li>・ 新型コロナウイルスの影響で、三密に注意し無理をしないで実施した。広域的な活動ができた。</li> </ul> <p>(3) 綾瀬川の浮遊ゴミをカヌーで回収</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 回収されたゴミの量：992 袋(45ℓビニール袋)</li> </ul> <p>(4) 防災救助訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月最終水曜日に救助艇の操船、救命浮環投てき等、訓練を行うことにより、救命艇の操船技術と理論を習得し、5 名が国家試験の小型船舶操縦免許を取得した。</li> </ul> <p>(5) 第 1 回名勝草加松原あやせ川松尾芭蕉杯カヌー大会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大会が、より親しみやすく、また市内外にアピールできるよう名称に「松尾芭蕉杯」を付した。</li> <li>・ 12 月 20 日、県内外の参加者 100 名規模の大会が盛大に開催できた。コロナ渦最中であったが、感染防止対策を徹底して実施し無事終了できた。</li> </ul>	

〔今後の展望〕

(今後の活動の方向性や抱負などを簡潔に記述してください)

- 1 第1回名勝草加松原あやせ川松尾芭蕉杯カヌー大会を実施することにより、「第4次草加市総合振興計画」の第1章「水辺を活かした街づくり」の行政の施策に対する具体的な貢献ができた。
- 2 夏休みカヌー教室やカヌー体験会を通して、水辺に親しむ体験活動を実施することができた。
- 3 河川美化活動でワーストワンの綾瀬川を再生する活動をさらに前進させることができた。
- 4 毎月1回の防災救助訓練で会員の救助技術の向上を図り、また、国家試験「小型船舶操縦2級免許」を5名が取得することによって今後の救助活動に備えることができた。
- 5 足立区と春日部市にカヌークラブを発足させ、広域的な活動に広げることができた。

草加市カヌー協会「草加パドラーズ」の三つのねがい

- ① きれいな川を目指します。(河川美化活動)
- ② カヌーなどが楽しめる水辺にします。(スポーツ文化の普及)
- ③ みんなで協力して素敵な街をつくります。(行政等との連携)

私達の活動目標は明確です。

- (1) 夏休み親子カヌー教室
- (2) 街づくりイベントでのカヌー体験会
- (3) 綾瀬川の浮遊ゴミをカヌーで回収
- (4) 防災救助訓練
- (5) 名勝草加松原/あやせ川松尾芭蕉杯カヌー大会開催をさらに継続発展させていく予定です。

私達の活動は7年目に入りました。令和3年1月現在、101名の会員が所属しています。これからも、目標を持ち安全第一で誇りを持って活動してまいります。

対象水系・河川	水系名	利根川水系	河川名	綾瀬川
データベースに登録する分野	部門	分野	分類	—
	川づくり団体			—

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名
2020-6112-004	綾瀬川クリーン大作戦	特定非営利活動法人草加市カヌー協会 代表理事 中島清治

助成事業実施成果の自己評価	<p><b>〔計画の妥当性〕</b></p> <p>(1) 綾瀬川の浮遊ゴミをカヌーで回収</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎週水、土、日、祝日実施。活動日数 123 日、参加人数のべ 1,204 名</li> </ul> <p>(2) 夏休み親子カヌー教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8 月 1 日実施。親子計 20 名が参加</li> </ul> <p>(3) 街づくりイベントでのカヌー体験会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 月 18 日 花畑川親子カヌー体験会 90 名参加</li> <li>・ 10 月 21 日 クラーク記念国際高校取材とカヌー体験 36 名参加</li> <li>・ 10 月 25 日 古利根川カヌー体験会 10 名参加</li> <li>・ 11 月 3 日 川の駅そうか村カヌー体験会 23 名参加</li> </ul> <p>(4) 防災救助訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間 12 回、毎月最終水曜日に救助艇の操船、救命浮環投てき訓練などを実施。</li> </ul> <p>(5) 第 1 回名勝草加松原あやせ川松尾芭蕉杯カヌー大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12 月 20 日開催。参加者約 100 名</li> </ul> <p>以上の成果だった。コロナ渦の中でも予防措置をしっかりと取り実施できた。</p> <p><b>〔当初目標の達成度〕</b></p> <p>①河川の美化活動は、コロナ渦の中、実施回数は予定より減ったが、ゴミの回収量は予定を上回った。会員数も 30 名増えて 100 名を超えた。海ごみゼロウイークへも協力した。達成度 95%</p> <p>②水辺に親しむ活動としてカヌー体験会、カヌー教室、カヌー大会を実施した。コロナ渦の中、三密に注意し、予防措置を講じながら実施できた。達成度 90%</p> <p>③災害時に備えた自主防災組織「草加市自主水防団」結成準備会を立ち上げた。4 月以降に総会を実施して正式に結成する予定。基金助成で救助艇、小型船外機の準備が出来てきた。小型船舶操縦免許取得者 9 名になった。年間活動計画の中に位置付け、救助訓練を実施する予定である。越谷県土整備事務所、江戸川河川事務所と連携し、船着場の設置も出来た。達成度 99%</p> <p><b>〔助成事業の効果〕</b></p> <p>①河川の美化活動では、市民が「有難うございます。」と声をかけてくれるようになった。多くの市民の意識を変えつつあると感じている。</p> <p>②水辺に親しむ活動では、水辺に親しむ各種のイベントを通して、河川を大変身近な存在に感じるようになってきた。「楽しかった。」「もっとやりたかった。」という感想をもらっている。</p> <p>③行政との連携、災害時に備えた自主防災組織の確立では、国、県の各行政の担当者が私達の活動を高く評価し、船着場の設置について理解を示し、率先して設置してくれるようになった。</p> <p><b>〔河川管理者等との連携状況〕</b></p> <p>(当該事業の実施にあたり、河川管理者などとの連携状況、効果等について)</p> <p>江戸川河川事務所、越谷県土整備事務所、埼玉県総合治水事務所が私達の河川美化活動の成果を高く評価してくれ、本格的な船着場 2 か所、簡易船着場 6 か所を設置してくれました。私たちは、水辺を活かした賑わいのある魅力的な街づくりとして、さらに、水難救助活動、来るべき利根川決壊洪水などの危機管理能力の向上を図って参ります。</p>
---------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



# 1 事業概要

私達の活動の目的は、三つの明確な目標があります。それは、きれいな川を目指します。カヌーなどが楽しめる水辺にします。みんなで協力して安全で素敵な街をつくりまします。この三つの願いを、一人一人が心にとめて活動を続けています。

## ①きれいな川を目指します。

今でもワーストワンと云われた綾瀬川が、浮遊ゴミで汚れ悪臭を放っています。会員 101 名が、毎週水、土、日、祝日にカヌーでペットボトル、空き缶、空き瓶、家庭用品等のゴミを回収し国土交通省と連携し美化活動を実施中です。

## ②カヌーなどが楽しめる水辺にします。

綾瀬川を市民にとって安全で親しめる水辺にすること、誇れる河川にすることで、ふるさと意識の向上や自然を愛しむ心情を育てる取り組みが急務でした。水辺は危険であるという看板や柵だけで水辺に親しめる方策が何もありませんでした。

私たちは、夏休みカヌー教室やカヌー体験会を開催し、水辺に親しむ活動を実施しました。

また、第 1 回名勝草加松原あやせ川松尾芭蕉杯カヌー大会を開催し、カヌーを通じ水辺のスポーツ文化を普及する事業を実施しました。

## ③みんなで協力して安全で素敵な街をつくりまします。

草加市の第 4 次総合振興計画の第 1 章に「水辺を活かした街づくり」を掲げています。しかし、未だ具体的な方策が示されていません。私たちは、一歩前に考えを進め、県土整備事務所、国土交通省河川事務所と連携して、綾瀬川、伝右川、古綾瀬川、毛長川に船着場を設け、水辺を活かした賑わいのある魅力的な街づくりを進めることにしました。また、市の危機管理課が震災と水害用のハザードマップを作成しても、陸路が絶たれた時の救援物資輸送、利根川決壊などを想定した人命救助対策が何も示されていません。私たちは、利根川決壊を想定し自主防災組織「水防団」をつくり、取り残された人々を救う訓練を重ねています。これは、市民が安全に安心して住み続けられるための大切な危機管理体制の構築の一つであると考えます。

## 2 活動内容

①きれいな川を目指します。

会員 101 名が、毎週水、土、日、祝日に綾瀬川左岸船着場付近でカヌーに乗り浮遊ゴミの回収活動をしました。令和 2 年度の活動日数は 123 日、ゴミ回収量 992 袋(450 ビニール袋)分、参加総人数 1,204 名。この 6 年間で、ごみの回収量は 4,000 袋を超えました。環境省と日本財団が主催の「海ごみゼロウイーク」運動にも本年も参加し貢献しています。



写真 1

東京湾の上げ潮で綾瀬川の下流からもゴミのかたまりが流れてきます。



写真 2 子供もがんばります。

写真 3 不法投棄自転車も引き上げます。



写真 4 今日のゴミ拾いの成果です。





写真5 救助艇を母船にします。

写真6 親子で協力してゴミ拾い。



写真7 今日の成果です。ご苦労様。







写真8 分別作業です。

写真9 海ごみゼロウイーク最終日



写真10 引き上げられた自転車



写真12  
三か月分のゴミの山

※三か月に一回、国土交通省が引き取りに来てくれます。





②カヌーなどが楽しめる水辺にします。

夏休みカヌー教室やカヌー体験会、第1回名勝草加松原あやせ川松尾芭蕉杯カヌー大会を開催し、水辺に親しむ活動を実施しました。夏休みカヌー教室20名、カヌー体験会6回・330名、カヌー大会100名、体験した親子は450名でした。コロナ渦の中、三密に注意して、カヌーで水辺に親しむ活動ができました。

『夏休みカヌー教室』

写真13 親子でカヌーを楽しみました。  
「ドキドキしたが、とても楽しかったです。」



写真14 一人で漕げるようになりました。「もっとやりたかったです。」

写真15 全員で記念撮影です。





2020

# 夏休みカヌー教室



## 綾瀬川の生きもの調べとクリーン活動

◎ カヌーに乗って、水辺の生きもの観察とゴミ拾いをしてみませんか。

□場 所 草加市 綾瀬川 (左岸船着場付近)

□期 日 令和2年8月1日(土)

(集合 8:30 体験開始 9:00 体験終了 11:00)

□参加申込み 住所 草加市松江 2-4-16 電話 048-931-3844(中島)

(小学生以上から大人まで、先着 20 名 **参加費 無料**)

□主催者 埼玉県水環境課「川の国応援団」川ガキ事業

NPO 法人草加市カヌー協会「草加パドラーズ」



『第1回名勝草加松原あやせ川松尾芭蕉杯カヌー大会』2020.12.20(日)



写真16 松尾芭蕉杯カヌー大会  
大人の部のスタートです。

写真17 大人往復3.0km 子ども往復1.0km  
を漕ぎ切りました。



写真18 岸辺からの応援です。







写真 19 子供の部の表彰  
良く頑張りました。

写真 20 大人の部の表彰  
大変お疲れ様でした。



写真 21 大会を終えて  
みんなで記念写真を撮りました。





## 第1回 名勝草加松原/あやせ川

# 松尾芭蕉杯カヌー大会



- 期日 2020年12月20日(日) 9:00~11:00 (荒天延期27日)
- 会場 草加市綾瀬川コース (大人3.0km 子ども1.0km)
- 主催 ・NPO法人草加市カヌー協会「草加パドラーズ」
- 後援 ・草加市 ・埼玉県・江戸川河川事務所 ・公益社団法人草加青年会議所  
・NPO法人今様草加宿 ・NPO法人うるおい工房村 ・東武よみうり新聞社
- 協力 ・草加市スポーツ協会 ・草加ペンクラブ ・草加八潮消防局  
・足立パドラーズ ・春日部市カヌー協会
- 参加申込み 草加市松江2-4-16 電話・FAX 048-931-3844 (中島)
- 種目 ①レーシング艇 ②スラローム艇 ③小中学生の部 いずれか一つ



公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。

③みんなで協力して安全で素敵な街をつくります。

1 越谷県土整備事務所 埼玉県総合治水事務所 江戸川河川事務所との連携

私たちの7年間に亘る河川美化活動の成果を県や国が高く評価していただき、船着場を設置してくれました。令和2年8月2日に船着場の完成を祝う式典を開催しました。



写真22 令和2年7月31日待望の船着場が完成

写真23 船着場完成祝い式典後の記念写真。甚左衛門船着場と命名しました。

※今後は、水辺を活かした賑わいのある魅力的な街づくりをしてまいります。





## 2 自主防災組織「水防団」を結成し訓練する

安全で住み良い街づくりの一環として、毎月末水曜日、定例救助訓練を実施し水難救助、救援物資輸送を想定し訓練を重ねています。明治43年、昭和22年の利根川決壊大洪水で埼玉県と東京都の東部地域は甚大な被害をこうむりました。草加市25万都市で消防局所有の救助ボート2艇、インフレーターボート2艇のみです。私たちは、想定外の大災害に対する備えとして救助艇と小型船外機を購入し、自主水防団を組織し危機管理体制の向上を図っています。安全第一で、自衛隊、消防局の活動の補助的な役割を担いたいと考えています。



写真 24 救助艇操船訓練



写真 25

二人一組で操船し、救命浮環投てきや引上げ訓練を実施します。



写真 26 河川財団基金で購入した9.9馬力エンジンを搭載して操船訓練中

### 3 効果・成果

私たちの活動内容を知って、毎年会員が少しずつ増えています。現在の会員数は101名。内訳は、大人79名、子ども22名。男88名、女13名。年長者84歳から幼稚園児までが正会員です。全員が私たちの活動目的を自覚して、毎回楽しくゴミ拾いを行っています。岸辺や橋の上から、親子が「おはようございます。有難うございます。」という声をかけてくれるようになりました。水質ワーストワンの綾瀬川を再び清流に蘇らせます。引き続き頑張ります。

本年度(令和2年)に、足立パドラーズと春日部市カヌー協会が私たちの支援で発足しました。河川は流域でつながっています。自分たちの街は自分たちで綺麗にしていく・・・という信念が大事だと思います。河川美化活動や水難救助活動は広域的な活動が効果的です。この活動がさらに全国に広がることを願っています。日本列島からプラゴミなどを絶対に海へ出さない、近い将来は、清流を取り戻し、カヌーなどで水辺に親しむことが出来る河川にしたいと考えます。ワーストワン河川からカヌーのメッカ(聖地)へ大転換を図ります。カヌー体験会を増やし、水辺に親しむ機会をもっとつくっていきます。また、想定外の利根川決壊に備え、自主防災組織「水防団」を結成し充実させます。現在は救助艇3艇、カナディアンカヌー4艇を所有し、それぞれに小型船外機を装着させ、機動力の向上を図って参ります。

今後、引き続き河川財団のご支援を賜りたいと願っております。



# 令和2年 綾瀬川の浮遊ゴミ

月	出勤回数	回収量(袋)	参加人数	内 容	備 考
1	14	136	131	ペットボトル 空き瓶 空き缶 ビニール袋 コンビニ弁当殻 発泡スチロール タイヤ バイクシート 丸太 木材 テレビなど 鍵1回	1/12 千葉県知事杯 1/22 水難救助訓練 1/26 川の駅そうか村
2	15	144	133	ペットボトル 空き瓶 空き缶 ビニール袋 コンビニ弁当殻 人体模型 タイヤ3本 ブラウン管テレビ 注射器 3,000本 しじみ 30	2/1 川の再生交流会 2/9 椎木稲荷美化2 2/23 戸田市笹目川
3	13	84	88	ペットボトル 空き缶 空き瓶 ビニール袋 コンビニ弁当殻 発泡スチロール タイヤ3本 家具・椅子 木材 丸太 建築資材 鍵1回	3/1 3/15 獨協大上陸 3/22 椎木稲荷清掃 3/25 水難救助訓練
4	10	65	31	ペットボトル 空き缶 空き瓶 ビニール袋 コンビニ弁当殻 発泡スチロール タイヤ1本 23型ブラウン管テレビ 家具 絨毯 丸太	4/5 コロナ対策休止 4/18 海ごみ運動申込 4/27 あやせ丸船検
5	15	101	82	ペットボトル 空き缶 空き瓶 ビニール袋 ハッポースチロール 弁当殻 自転車4台 カラーコーン4 丸太4 角材2 椅子 ツリー	5/7 救助艇の船検 5/26 緊急事態宣言解除 「海ごみゼロウイーク」
6	11	126	94	ペットボトル 空き缶 空き瓶 ビニール袋 発泡スチロール 弁当殻 ジュータン 角材 環境省「海ごみゼロウイーク」57名 131.5袋	5/30～6/7 6日間 6/5 環境の日 6/26 名倉建設 280袋
7	12	123	97	ペットボトル 空き缶 空き瓶 ビニール袋 発泡スチロール 弁当殻 丸太 木材 タイヤ 松の大枝 柳の大木 7/23 海の日	7/1 椎木稲荷お札奉納 7/1 河童の碑募金開始 7/19 占利根川遠征 76袋
8	17	46	179	ペットボトル 空き缶 空き瓶 ビニール袋 発泡スチロール 弁当殻 丸太 木材 鉄板 自転車3台 バイク1台 8/22 那珂川 8/29 利根川	8/1 夏休みカヌー教室 8/2 河童の碑除幕式 8/5 草加パドラーズ展
9	15	96	133	ペットボトル 空き缶 空き瓶 食品トレイ ビニール袋 弁当殻 タイヤ2 座いす1 マットレス1 丸太6 一斗缶1 自転車7	9/5 杉戸町観光課長 9/9 三郷市遠征 9/21 六町若衆合同
10	11	77	115	ペットボトル 空き缶 空き瓶 食品トレイ ビニール袋 弁当殻 タイヤ1 自転車1 ヤカン1 テーブル1 ジュータン1 炊飯器1	10/4 名倉建設 302袋 10/11 大鷲神社 10/25 春日部安全教室
11	15	61	186	ペットボトル 空き缶 空き瓶 食品トレイ ビニール袋 弁当殻 自転車10 バイク1 消火器2 キッチンワゴン1 丸太・角材9	11/7 松永氏船舶合格 11/14 羽田運河遠征 11/23 伝右川大作戦
12	13	67	229	ペットボトル 空き缶 空き瓶 食品トレイ ビニール袋 弁当殻 消火器3 タイヤ1 布団1 ソファベット1 丸太2 角材15	12/13 コパトン記者 13名 12/20 カヌー大会 12/27 日曜最終日
小計	123	992	1,204	日常生活用品、家庭用品、生理用品、家具、 寝具、丸太、木材、建築資材など 買い物用ビニール袋有料化で効果を実感する	12/20 名勝草加松原あやせ川松尾芭蕉杯カヌー大会開催(無事終了)

①河川の美化活動 ※「海ごみゼロウイーク」環境省への協力は市内で唯一の取り組みであった。

- ・年間/992袋の浮遊ゴミの回収をした。昨年828袋を上回り過去最高を記録。
- ・ゴミ拾い日数: 123日(昨年: 167日)※コロナの影響。 ・総参加人数は1,204名であった。

②水辺のスポーツ文化の普及活動 ※市内外との交流・普及活動

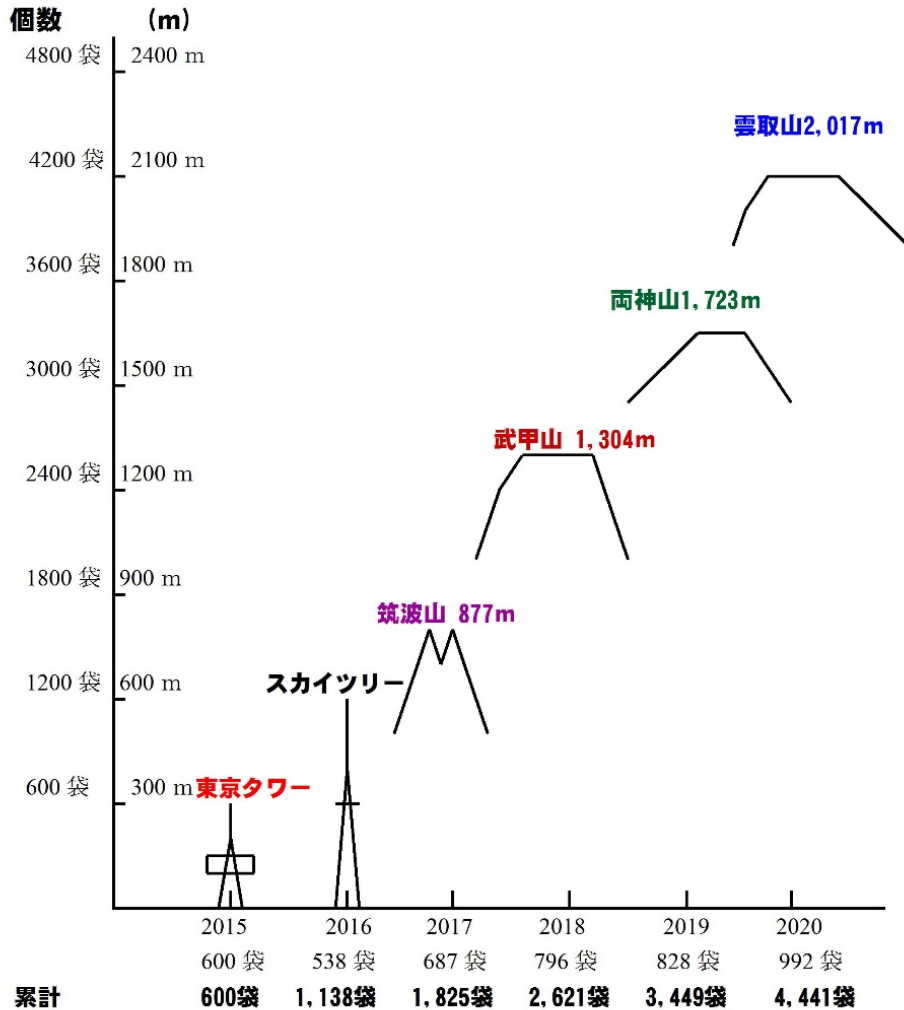
- ・川の駅そうか村 夏休みカヌー教室 親子カヌー体験会
- ・第1回名勝草加松原あやせ川松尾芭蕉杯カヌー大会開催(無事終了)。

③行政や環境団体等との連携

- ・市環境課(汚染水不法投棄調査)・市廃棄物資源課「海ごみゼロウイーク」(ごみ回収に協力)
- ・市みどり公園課(鍵の貸借回数配慮)・草加警察署(拾得物係)・草加八潮消防局(救助艇)
- ・県水環境課(川の再生交流会)・越谷県土整備事務所(伝右川船着場作成)など
- ・江戸川河川事務所中川出張所(ゴミ回収)

# 6年間で回収したゴミの量 雲取山(2,017m)を超えた!

注: 1袋分(45tビニール袋)=50cm



## 《評価》

## 累計

- ・ 1年目 2015年 600袋 = 300m 300m → **東京タワー** (333m)
- ・ 2年目 2016年 538袋 = 269m 569m → **スカイツリー** (634m)
- ・ 3年目 2017年 687袋 = 343m 912m → **筑波山** (877m)
- ・ 4年目 2018年 796袋 = 398m 1,310m → **武甲山** (1,304m)
- ・ 5年目 2019年 828袋 = 414m 1,724m → **両神山** (1,723m)
- ・ 6年目 2020年 992袋 = 496m 2,220m → **雲取山** (2,017m)

※ 累計4,431袋

**6年間でゴミ回収量は累計4,441袋**

**その高さは雲取山(2,017m)を超えました!**

(※令和2年12月末日現在)



私達の活動は7年目を迎え、上記①②③の目的実現のための活動用機材等は、各種の補助金で賄ってきました。今回、補助金をいただき、所有の4mボートに9.9馬力の小型船外機を装着し救助艇が完成しました。国家試験小型船舶操縦2級免許所持者が9名になりました。また、今回の基金で作成した環境学習用の冊子とDVDは草加市内小中学校へ寄贈させていただきました。3、4年生の郷土学習に使用していただけるという嬉しい言葉を頂いています。また引き続き、中央図書館でのスポーツ文化企画展「草加パドラーズ展」を開催し、啓蒙啓発活動を続けてまいります。



冊子「夏休みカヌー教室」

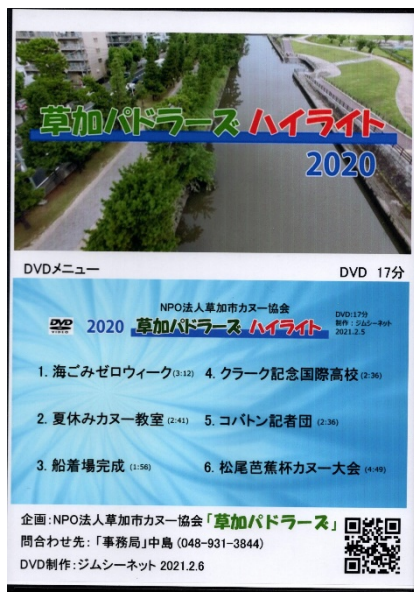


冊子「海ごみゼロウィーク」



□作成した冊子とDVDを市内の小中学校、草加市立図書館へ寄贈いたしました。

総合的な学習の時間、郷土学習、環境教育に利用していただけるようお願いしました。



ジャケット表



ジャケット裏(河川基金表記)

様式 1 1

3.川づくり団体部門

[実施箇所位置図]

助成番号		助成事業名		所属・助成事業者氏名	
2020-6112-004		綾瀬川クリーン大作戦		特定非営利活動法人草加市カヌー協会 代表理事 中島清治	
主な実施箇所		利根川水系 綾瀬川			
助成事業の主な実施箇所	1 定例活動地域 添付地図の通り 活動成果は添付資料の通り 年間ゴミ拾い活動 1,204 名 2 松尾芭蕉杯カヌー大会 参加者約 100 名 ポスター 様式 16-1 写真 6 の通り 3 DVD 冊子 様式 16-1 写真 7~12 の通り				
	遠景		近景		
河川基金ロゴ等表示状況写真	様式 16-1 写真 4 の通り		様式 16-1 写真 4 の通り		
	延べ参加人数	一般	1,500 名	スタッフ・事務局	100 名
マスコミの反響	読売新聞 東武よみうり新聞 地域新聞に大きく取り上げていただきました。				